

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年												平成30年														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~7日	1月 ~14日	1月 ~21日	1月 ~28日	2月 ~4日	2月 ~11日	2月 ~18日	2月 ~25日	3月 ~4日	3月 ~11日	3月 ~18日	3月 ~25日	4月 ~1日	4月 ~8日	4月 ~15日
カンピロバクター	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	109	84	7	8	10	12	11	10	5	13	11	14	12	11	19	18	20
病原性大腸菌	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	73	110	14	17	14	21	15	16	6	14	10	13	19	2	21	20 (21)	19
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
サルモネラ	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	16	3	0	0	2	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	9	12	2	3	2	7	3	3	2	3	2	2	2	1	6	5 (6)	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	15	16	3	1	3	5	4	3	1	3	6	3	2	2	2	3	1
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	3	1	0	0	0	0	2	1	3	1	3	1	0	1	0	1 (2)	1
ロタウイルス	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	7	4	4	5	5	6	12	16
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	7	21	2	4	2	5	4	2	3	4	10	5	2	0	1	2	1

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

*先週の、その他の1件増は、アエロモナスでした。

*その他の1件は、アエロモナスでした。

広島県感染症発生動向週報

平成30年第15週(4月9日~4月15日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5	1	1			2		1
三類	1	細菌性赤痢	1		1					
四類	0	発生なし	0							
五類全数	12	後天性免疫不全症候群	1							1
		侵袭性肺炎球菌感染症	1						1	
		梅毒	2					2		
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		百日咳	4		1			1	1	1
		風しん	3				3			

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第15週 4/9~4/15)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 感染性胃腸炎(ロタウイルス)

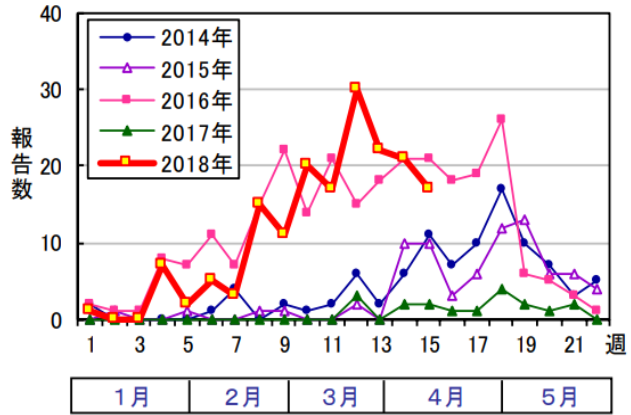
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)は基幹定点から17人の報告がありました。

前週と比べてやや減少しましたが、引き続き、オムツや吐物の適切な処理、手洗いを徹底するなど、感染予防対策を心がけましょう。

2. 風しん

3件の報告がありました。

基幹定点からの感染性胃腸炎(ロタウイルス)報告数



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
小児科	インフルエンザ	44	1.19	2.22	↘	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.51			
	咽頭結膜熱	7	0.29	0.43	↘	小児科	RSウイルス感染症	9	0.38	0.14			
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	50	2.08	1.90	↔	眼科	急性出血性結膜炎	2	0.25	-			
	感染性胃腸炎	219	9.13	8.17	↘	眼科	流行性角結膜炎	11	1.38	0.53			
	水痘	3	0.13	0.46	↘	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-			
	手足口病	2	0.08	0.68	↘		無菌性髄膜炎	1	0.14	-			
	伝染性紅斑	-	-	0.22	↘		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.17			
	突発性発しん	8	0.33	0.55	↘		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			
	ヘルパンギーナ	8	0.33	0.08	↘		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	17	2.43				

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	48	女性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・1人
5	梅毒	2	30	女性(20歳代)・1人、男性(40歳代)・1人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	女性(70歳代)
5	百日咳	1	7	男性(10歳代)
5	風しん	3	3	男性(10歳未満)・1人、女性(20歳代)・1人、女性(20歳代)・市外・推定感染地域: 国外・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	嘔吐 下痢	0	女	2018/02/23	糞便	ノロウイルスG2
感染性胃腸炎	発熱 嘔吐 下痢	2	男	2018/03/06	糞便	A群ロタウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載